職業実践専門課程等の基本情報について

### 1998年 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997 199	学校名		設置認可	可年月日	校長名			所在地			
野田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		アルアー	平成5年	3月31日	清水 禎徳	〒 (住所)	102-0081 東京都千代田区四都	昏 町11			
			- 小士 - 河	可在日口							
大学											
	学校法人Adach	ni学園	昭和42年	F1月12日	安達 暁子			日駿河台2-11			
下記の日本	分野		認定課程名					高度専門士認定	4度	職業実践	専門課程認定年度
学科の目的	文化・教養	眵	快像専門課程	(クリエ		平原	戊 6(1994)年度	-			-
# 2 日本	学科の目的	写真業界の	のニーズに合った	·		しながら卒業	後に社会で活躍できる	人材の育成を目的とす	る。	l	
	可能な資格、中退	実習授業が中途退学	が多い/他学科、他 率6%・・・R4年4月	也専攻と協力し、 11日時点における	業界と同じシステム、3 る在学者16名(R4年度	ムワーク ⁻ 入学者含む	でイベントや作品を制作)R5年度3月31日時点に	: こおける在学者15名(F	85年3月31	日卒業者を含	(t)
	修業年限	昼夜	全課程の修了に		特数又は総	購義	演習	実習	美	験	実技
生物の対象		昼間									
■ 大田 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	生徒総定員	生徒到	実員(A) 留					100			
■ 大田 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	400の内 人	15		2	! 人 1:	3 %					
	数	■卒業者	数 (C)		8						
##元式配表の対応 10						人					
個別		■地元就	職者数(F)	<u> </u>		<u> </u>					
日本		■就職率	(E/D)	曲本の刺り / - /-		%					
		■泦職者	に占める地元就師 	厩石の割合 (F/E 		%					
		■卒業者	に占める就職者の	D割合(E/C)							
	±1.00 00 00 10 00	■進学者	数			人					
■主な情報を、表示等 (物は有意を考生) 第三者による (本の場合、表示を) (本の場合、表示を) (本の場合、表示を) (本の場合、表示ないでは変更を) (本の場合、表示ないでは、表示	就職等の状況										
■主な情報を、表示等 (物は有意を考生) 第三者による (本の場合、表示を) (本の場合、表示を) (本の場合、表示を) (本の場合、表示ないでは変更を) (本の場合、表示ないでは、表示		就職活動	継続1名								
# 三本		37019W/LI 243	442496 · E								
特別の場合、現在はスタジオ、出版社スタジオ、主義等写館、子供等質的など 第三者による 事権の場合、例えばは下について任意記載 非仏神器を得職した 非仏神器を得職した 非仏神器を得職した 非仏神器を得職した 非仏神器を得職した 非仏神器を得職した		(令和	4 年度	卒業者に関する令	和5年5月1日時点の作	青報)					
# 総邦の学が、出版社スタジオ、営業与真館、子供与真館など 第三者による 字材部価 本人本ページ											
第三者による				***	「紋 フ州東古紋かし						
第三者による 学校評価 # (A: 単位対価		地がんさ	ング、山脈性へつ	・ノイ、呂未子兵	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	•					
#							無				
### ### ### ### #####################		※有の場合	た。例えは以下につ	いて任意記載							
計画な子科の	字校評価		評価団体:		受審年月:						
A-スープ	出転学科の						<u> </u>				
(A:単位時間による寛定) お投棄神数 単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位時間 うち企業等と連携した漫画の授業時数 単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位時間 うち企業等と連携した必修の実習の授業時数 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位時間 うち企業等と連携したが必要が認識を提供 単位時間 うち企業等と連携したが必要が認識を提供 単位時間 一方企業等と連携したが必要が認識を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ホームページ	https://w	ww.tva.ac.jp/dep	partment/photo	/						
おります	URL										
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業特数 単位時間 うち企業等と連携した演習の授業特数 単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業特数 単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業特数 単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業特数 単位時間 入 日本の教による事定 日本の教に表現を主選携した必修の実験・実習・実技の授業特数 日本位 日本位 日本位 日本位 日本位 日本位 日本位 日本の本の実験・実習・実技の授業特数 日本位 日本位 日本の本の実験・実習・実技の授業特数 日本位 日本の本の実験・実習・実技の授業特数 日本位 日本の本の実験・実習・実技の授業特数 日本位 日本位 日本の本の実験・実習・実技の授業特数 日本位 日本の本の実験・実習・実技の授業特数 日本位 日本の本の実験・実習・実技の授業特数 日本位 日本の本の実験・実習・実技の授業特数 日本位 日本の本の実験・実習・実践の表現事が1条第1項第1号 日本の本の実験・実際・実習・会議を対した。日本の本の表現を表現を表現を表現を第1項第1号 日本の本の文に専門課金を考える表現を表現を表現を第1項第2号 日本の本の文に専門課金を表現を表現を表現を第1項第2号 日本の本の文に専門課金を表現を表現を表現を第1項第2号 日本の本の文に専門課金を表現を表現を表現を表現を第1項第2号 日本の本の文に専門課金を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を		(A : 単位	は時間による算定)							
36企業等と連携した深層の侵棄時数 単位時間 10 10 10 10 10 10 10 1			総授業時数							単位時間	
予ち必修授業時数 単位時間			うち:	企業等と連携した	た実験・実習・実技の	授業時数				単位時間	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位時間 第一次			うち	企業等と連携した	と演習の授業時数					単位時間	
全業等と連携した 実際等の実施状況			うち	必修授業時数						単位時間	
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、BL) ずれか に記入) (B:単位数による算定) 総授業時数 「ち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 「ち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 「ち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「ち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「ち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「ち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「ち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「する企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「中位の担当する教育等に従事したが表現の授業時数 「中位の担当する教育等に従事した対した会との表現を表現とは事情を表現として、でも犯当する教育等に従事した相関とを通算 「でも犯当する教育等に従事した相関とを通算 「本修学校設置基準第41条第1項第2号) 「会修学校教諭等経験者 「本修学校設置基準第41条第1項第2号) 「会修生の学位と有する者等 「本修学校設置基準第41条第1項第3号) 「会修学校設置基準第41条第1項第3号) 「会修生の学位とは専門職学位 「本修学校設置基準第41条第1項第4号) 「会修生の学位と対する書き 「本修学校設置基準第41条第1項第4号) 「会修生の学位とは専門職学位 「本修学校設置基準第41条第1項第4号) 「会修生の学位とは専門職学位 「本修学校設置基準第41条第1項第4号) 「会修生の学位とは専門職学位 「本修学校設置基準第41条第1項第4号) 「会修生の学位とは専門職学位 「本修学校設置基準第41条第1項第5号) 「人				うち企業等	等と連携した必修の実	験・実習・実	ぼ技の授業時数			単位時間	
設定等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) (B:単位数による算定) 総授業時数 「56企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 「56企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 「56企業等と連携した必修の実験・実置・実技の授業時数 「56企業等と連携した必修の実験・実置・実技の授業時数 「56企業等と連携した必修の演習の授業時数 「56企業等と連携した必修の演習の授業時数 「56企業等と連携した必修の演習の授業時数 「9 単位 「56企業等と連携した必修の演習の授業時数 「9 単位 「56企業等と連携した必修の演習の授業時数 「9 単位 「56企業等と連携したがの対象時数 「9 単位 「56企業等と連携したがあって、当該専门に対する教育等に従事した者であって、当該専门に大年の担当する教育等に従事した者であって、当該専门に大年の担当する教育等に従事した期間とを通算 「7 専修学校設置基準第41条第1項第1号) 「7 専修学校設置基準第41条第1項第2号) 「9 人 「9 学士の学位を有する者等 「7 専修学校設置基準第41条第1項第3号)「9 人 「9 を学校設置基準第41条第1項第5号)「9 人				うち企業等	等と連携した必修の演	習の授業時数	t			単位時間	
(A、Bいずれかに記入) (B:単位数による算定) おりますれかに記入	企業等と連携した		(5	ち企業等と連携し	_{したイン} ターンシップ	の授業時数)				単位時間	
(こ記入) (日:単位似による身定) 総授業時数 136 単位 5 5 企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 0 単位 5 5 企業等と連携した液習の授業時数 8 単位 5 5 企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 8 単位 5 5 企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位 (5 5 企業等と連携したインターンシップの授業時数) 0 単位 (5 5 企業等と連携したインターンシップの授業時数) 1 人 「平 6 7 6 7 8 7 8 7 8 7 8 8 9 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9	実習等の実施状況			-							
総授業時数 136 単位 55企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 0単位 55企業等と連携した演習の授業時数 0単位 55必修授業時数 8単位 55企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 0単位 55企業等と連携した必修の演習の授業時数 0単位 (55企業等と連携した必修の演習の授業時数 0単位 (55企業等と連携した必修の演習の授業時数 0単位 (55企業等と連携したがの演習の授業時数) 1人 単位 1 人 での担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修了した後、学校等においてもの担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修本年限と当該業務に従事した期間とを通算 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 1人 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 0人 係員について記入) 3。高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 0人 6 多七の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 1 人 1 人		(B:単位	立数による算定)								
うち企業等と連携した演習の授業時数 3 単位 うち必修授業時数 3 単位 うち必修授業時数 3 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 0 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数 0 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数 0 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数 1 人			総授業時数						136	単位	
うち必修授業時数 8 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 8 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数 0 単位 1 人 1 人 2 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人 2 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 0 人 3 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 4 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 1 人			うち	企業等と連携した	:実験・実習・実技の	授業時数			8	単位	
うち企業等と連携した必修の演發・実習・実技の授業時数 3 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数 0 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数 0 単位 1 人 (事修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修案を限と当該業務に従事した規則とを通算 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 1 人 (事修学校上でのよりで記していて記していて記していて記していて記していて記していて記していて記してい			うち:	企業等と連携した	た演習の授業時数				(単位	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数			うち	必修授業時数					8	単位	
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修案年限と当該業務に従事した規間とを通算 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 1 人 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 1 人 上記①~⑤のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度				うち企業等	等と連携した必修の実	験・実習・実	薬技の授業時数		8	単位	
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修案年限と当該業務に従事した者であって、当該専門課程を修業年限と当該業務に従事した期間とを通算 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 1人 (東修学校設置基準第41条第1項第2号) 0人 (東修学校設置基準第41条第1項第2号) 0人 (東修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 (東修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 (東修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 計 1人				うち企業等	等と連携した必修の演	習の授業時数	t e		(単位	
てその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した規間とを通算 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 1 人			(5	ち企業等と連携し	_{したイン} ターンシップ	の授業時数)			(単位	
てその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 1 人											
てその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した規間とを通算 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 1 人											
門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算			① 専修学校の	専門課程を修了し	した後、学校等におい た者であって 半まま						
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 0人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 計 1人			門課程の修業年	限と当該業務に征	とようで、 国 談 等	(専修学	校設置基準第41条第1項	(第1号)	1	٨.	
教員の属性 (専任教員について記入) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 計 1人			して六年以上と	はる石							
教員の属性 (専任教員について記入) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 計 1人			② 学士の学位	を有する者等		(専修学	校設置基準第41条第1項	頁第2号)	() 人	
教員について記 入) ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 計 1人	数員の屋供 (事に										
(事修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 計 1人	教員について記										
計 1人 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度	入)			人は守门戦子位						-	
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度						(専修学	校設置基準第41条第1項	第5号)	(人	
			āt						1	人	
						ね5年以上の	実務の経験を有し、た	かつ、高度			
										^	

```
1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。」との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っている
こと、I関係
       (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本
方針
    各分野のようメートーになるための専門地域・技術の可能や影響的な人民間も終する結構により、社会人民間か、人間か、高等サカ
を基本と、東門地域・技術の管理と表現する心理なり、自己を表のできませた。 社会教育であり、社会教育であり、社会教育であり、社会教育であり、社会教育であり、社会教育であり、
人の機能をおこなり、授者が対ってからの機能にあり、ませめの職員のかなどが、外格の企業・集界の有職者と連携し、より実践的な安
異様日の開発とできなの職所を含むたが実践のようととを基本力技术という。
    (2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程編成委員会等の位置付け
  ※教育課程の構成に関する思考決定の過程を研究

中核らで言葉、前後間があります機の上が立て、

村名の間から機関がありません。

村名の間から機関がありません。

の選択しては、

の関係しては、

の関係して

の関係して

の関係して

の関係して

の関係し

の関係し、

の関係し、

の関係し、

の関係し

の関係し
    (3) 教育課班經成委員会第の会委員の名簿
                                                                                                                                                                                                                                               名前
       寺下 隆
清水 禎徳
                                                                                                                                                                       写真電気工業株式会社 代表取締役
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           3
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       31日(2年)
令和4年9月1日~令和6年8)
                                                                                                                                                                       専門学校東京ビジュアルアーツ 学校長
         多田 和也
                                                                                                                                                                       専門学校事育ビジュアルアーツ 学科長
                                                                                                                                                               専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員 *** (を知年9月1日-参加年4月

専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員 *** (を知年9月1日-参加年4月

専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員 *** (おおりまり) また(また) 
         円谷 紫音
                                                                                                                                                             専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員 ***
専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員 **
専門学校東京ビジュアルアーツ キャリアサポートセン ター報真 **
ラー報真 **
コロ(2年) **
コロ(2年
         桑原 仁太
         大竹 敦子
         ※要員の得別の間には、企業等委員の場合には、要員の種別のうちは下の1)~3のいずれに認当する必定数すること。
(国計学状の物質が対象的の更またして労働する場合、提出の機能で、1を認証して行さい。)
地方の人間外やの機能(2年で制度が設めの機能ははまった。
地方の人間外やの機能(2年で制度が設めの機能ははおいまった。
(2年会から時間機能の対象性)
         (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
年間の開催数及び開催時期)
年2回 (9月、2月)
  年2回 (サバ・ムバ
(開催日時(美報))
第1回 今和4年月月8日 15:00~16:30
第2回 今初3年月月7日 15:00~16:30
(5)教育課程の展決への教育課程編成委会等の意見の活用状況
※カリキニラムの改善家や今後の検討課題等を具体的に制定。
    寺下委員、圏江委員より写真撮影だけでなく、映像撮影などマルチに対応できる人材育成への要望
一映像撮影や編集など映像についての授業時間数を現在よりも増やす。写真と映像に具通する「編作り」を学ぶ新規かり、
後の権計関連して郵練問題を
    2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
  ② 工業等で建設して、実施、実施、実施、実施、実施、大場では、中海で活動やけることが、
に対象で、実際を対する企業を必要が関する基本方針
持った支援地の影響を表北、ためから影響と対象においたなから間壁を接着を発・機能のセオールやも同様をおいます。
他のから其本的の基本を対象にありまからない。
を対象には、また、またのから、日本のから、日本のから、日本のからは、生産を実み分析では、実施のあるを実に指するクマナット
ファーに関係しては、またのから、日本のから、日本のから、日本のから、日本のからなど、日本の事業が必要がある。
の対象のながあるとなった。
「日本の主命など、日本のからなど、日本のから、日本のから、日本のから、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命など、日本の主命を見ないる。日本の主命を見なり、日本の主命など、日本の主命など、日本の生命など、日本の主命を見なり、日本の主命を見なり、日本の主命を見なり、日本の主命を見なり、日本の主命を見なり、日本の主命を見なり、日本の主命を見なり、日本の主命を見なり、日本の主命を見なり、日本の生命を見なり、日本の生命を見なり、日本の生命を見なり、日本の生命を見なり、日本の生命を見なり、日本の生命を見なり、日本の生命を見なり、日本の生命を見なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命など、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生命なり、日本の生をしなり、日本の生命なり、日本の生をなり、日本の生をなり、日本の生をなり、日本の生命なりを
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。
科目名 料目概要 連携企業等
                                                                                                            村 日 依 会 様々な撮影に対応できる知識や技術を修得、また撮影の
セオリーや理由を学び応用力を付ける。あらゆる被写体を
テーマに基本的な撮影を実習。
         制作技術1
                                                                                                            様々な撮影に対応できる知識や技術を修得、また撮影の
セオリーや理由を学び応用力を付ける。「制作技術1」の修
標を踏まえ、発展的により難易度の高い撮影を実習。
            制作技術2
「今と選手と連携して、毎美に対し、事故分別により場高度の高い場所を実施。」
「今を業年と連携して、毎美に対し、事故分別における美術に関する研修を掲載的に行っていること。」関係
(1)連集等年の毎日上がする研修・研究(反すで研修等)という、の基本方対
※信仰を全権は、対象さなとにない、では無対によかられていることが終
・ 一般の表した。またいの表したは、自然のようなという。 (日本のまない施設が出来した。 月日のも

上を見から、第二年、全人を記録を行うからない、も、毎年後に、生命があるままでが、、日本のまたが一部が今時のなと注目する

のよいて記が、実施された研修等の内容は、「すべてきるからに表されるととが、これを描する美術と表現が考慮のまたする。

末、無数がに各等が形のことでありまか。となる数様からと対象がよりない。これを表でき、、
       (2)研修等の実績
①専攻分野における実際に関する研修等
研修名: 写真服視際
別問: 令和49月25日
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        連携企業第· 東京都写真差術館
  内容 総責献の在り方を再確認し、実習等における学生指導ならひに行
(3)研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等
研修名: 企画写真展「見るまえに跳べ 日本の新進作家vol.20]視察
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   連携企業等・
4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
  (1) 学校開催者評価の基本方針
費用日都に受った人材育成ができているか、開係業界・卒業生を対象として学校点接と自己評価の結果に辿って説明をする「学校開係者評価
を裏面に、エイーンとで観客を追悼する。その情報に基づき、信着事項を求るが、優先期間を付けて予算をし収售プランを開業、子校長のV
可能するできまった。七年学校開修者指定を活動している。
    の項目との対応

学校が後至する時級第日

学校が後至する時級第日

学校の後至する時級第日

学校の後至ります。

学校の後至ります。

「中央の本人が利用でかれていなかっな。

「中央の本人が利用であれているかっな。

「中央の本人が利用であった。

「中央の本人が一般であった。

「中央の本人が一般であっ
         (3)手化側後名計画物表の活力が4、
辺Ӌ基特核など、鉄能に有称改革機については積極的に取得を推奨すべきとの意見を頂き、全学科へ呼びかけを行うことした。
空学生には、現場に加た際、仕事・機材より命を最優をする指導を常にすべきとのご意見を頂き、全学科へ指導。
環境・栄養の場合と学科機でなど学校上に緩が、行動が上した方が最終であるためでご意見を頂き、本学科、小人ベージやSNSで徐
         (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿
       名前 株 淳一郎
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  任期
令和5年4月1日~
令和7年1月~
                                                                                                                                                                    株式会社ウエストゲート
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  日~
11日(2年)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          企業等委員
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    令和5年4月1日~
会和7年3月31日(2年)
         國竹 章-
         江川 悦子
                                                                                                                                                                       株式会社メイクアップディメンションズ
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            企業等委員
       平井 思帆
清水 禎徳
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          卒業生
法人理事
養 校長
       松瀬 加奈子 専門学技業度ビジュアルアーツ を取る対象性

関 前責 専門学技業度ビジュアルアーツ (製造を利用)

製 前責 (製造の提列の機)には、学校関係者計像委員として選出された場面となる属性を把載するとと

(物)と選挙要長。アドル・年末支寿
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     学校教職員
       Identify views basely disclosure/files/fRTVAevalution_pas

(日本語) (1995年)

(日本語)
    (1) 正来サルナス回か当に対する同様などの必要イガミー企業が求める時代に卸した人材を育成するため、簡単やニーズを共有し、学校の実践的な職業教育にかかる活動を評価・改善する中で、質の高い限定を行っていために、なべ雇用側の企業、関係団体、自治体等に向けて公表していくめとする。
限・映画学行でいたらた。《広報報節の企業・映画版、出版報に対する機工でで成れていたのです。

「フリー等学習によりでは、日本報報報報等の、の数はに対するのイナン・(アンス 2012年 20
```

(10)及び(11)については任意記載。 3)情報提供方法

3.1慎報提供方法 (ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他()) URL: https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevalution.b.pdf

授業科目等の概要

		(学) 分類	科(クリエイティ	ブフォト専攻)				挡	2業:	方法	場	所	教	員	
		188	,			配当日	授	単			実験					企業
	必	選択以	自由等	授業科目名	授業科目概要	年次・	業時	位	ř.	演	技実	校	校	専	兼	等との
	修	必修	選択			学期	数数	数	義	팝	習・実	内	外	任	任	が連携
1	0			メディア研究	様々な映像メディアから、社会と写真との関連性を考え る①	1年前期	30	2	0			0			0	
2	0			ソーシャル・ フォト論1	写真が社会のなかで果たす役割を知る。①	1年前期	30	2	0			0			0	
3	0			表現研究	多彩な表現を通し職業写真家について知る。	1年前期	30	2	0			0			0	
4	0			ソーシャル・ フォト論2	写真が社会のなかで果たす役割を知る。	1年前	30	2	0			0			0	
5	0			タイト画2 業界研究	写真業界に対する知識を深め、 進路を考える。	1年前期	30	2	0			0			0	
6	0			デザイン基礎	デザイン系ソフトを使用した作品制作の基礎を学ぶ	1年前	30	2			0	0			0	
7	0			スタジオワーク	スタジオでの撮影に慣れ、スタジオ作業の基本を習得す る。	1年前	60	4			0	0		0		
8	0			暗室実習1	©。 モノクロフィルムの現像とプリント方法を習得する。①	1年前期	60	4			0	0			0	
9	0			基礎演習	機材・構図・光・被写体等の基本要素を学ぶ。	1年前	60	4			0	0		0		
10	0			フォトテクニック1	様々なカメラ・機材を使用し、写真の基礎技術を修得す	1年前期	60	4			0	0		0		
11	0			ブ1	る。① デジタルフォト運用に関する知識を習得する。①	1年後	60	4			0	0		_	0	
12	0			映像基礎	基礎的な映像制作のテクニックを学ぶ	期 1年後	30	2			0	0			0	
13	-			デザイン実習1		期 1年後	60	4						_	0	
	0				デザイン系ソフトを使用して作品制作① スタジオ撮影を通して、現場で使えるミニマムスキルを 身につける	期					0	0		0		
14	0	-		ワーク 1		期	60	4			0	0		0		
15	0	-		暗室実習2	モノクロフィルムの現像とプリント方法を習得する。②	1年後期	60	4			0	0			0	
16	0	4		写真演習フォトテクニッ	計画的に作品をつくる事を通じて、自主性を育む。 様々なカメラ・機材を使用し、写真の基礎技術を修得す	1年後期	60	4			0	0		_	0	
17	0		-	<i>7</i> 2	様々なガメブ・機利を使用し、子具の亜能技術を移行する。②	期	30	2			0	0		0		
18	0			デジタル実習2	デジタルフォト運用に関する知識を習得する。②	1年後期	60	4			0	0			0	
19	0			映像演習1	写真スタジオにおけるデジタルカメラでの動画撮影技術 を習得。①	1年後期	60	4			0	0			0	
20	0			特別授業1	自身の就職する業界についての基礎知識を取得し、自身 の希望する職種を限定していく。	1年前期	0	2	0			0		0		
21	0			特別授業2	学校主催の合同企業説明会に参加し複数社から企業説明 を受ける。自身の希望職種を決定させる。	1年前期	0	2	0			0		0		
22	0			特別授業3	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける①	1年後 期	0	2	0			0		0		
23	0			特別授業4	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける②	1年後期	0	2	0			0		0		
24	0			特論1	業界力を身につける/最終制作のレベルアップ①	2年前 期	30	2	0			0			0	
25	0			写真映像論1	写真・映像の歴史と名作を学び、写真表現の可能性を追 求する。①	2年前 期	30	2	0			0			0	
26	0			メディア論1	様々な映像メディアから、社会と写真との関連性を考え る②	2年前 期	30	2	0			0		0		
27	0			特論2	業界力を身につける/最終制作のレベルアップ②	2年前 期	30	2	0			0			0	
28	0			写真映像論2	写真・映像の歴史と名作を学び、写真表現の可能性を追求する。②	2年前 期	30	2	0			0			0	
29	0			メディア論2	様々な映像メディアから、社会と写真との関連性を考え る③	2年前 期	30	2			0	0		0		
30	0			デザイン実習2	デザイン系ソフトを使用して作品制作(2)	2年前 期	60	4			0	0			0	
31	0			制作技術1	あらゆる撮影に対応するミニマムスキルの習得。	2年前 期	60	4			0	0			0	0
32	0			グラフィクデザ イン1	専用ソフトを使用しグラフィックをデザインする①	2年前 期	60	4			0	0			0	
33	0			表現演習1	個性を生かした作品を制作する。①	2年前期	60	4			0	0			0	
34	0			映像演習2	写真スタジオにおけるデジタルカメラでの動画撮影技術 を習得。②	2年前期	60	4			0	0			0	
35	0			デジタル実習3	デジタルフォト運用に関する知識を習得する。③	2年後	60	4			0	0			0	
36	0	1	1	デザイン実習3	デザイン系ソフトを使用して作品制作③	2年後期	60	4			0	0			0	
37	0	1	1	制作技術2	あらゆる撮影に対応するミニマムスキルの習得。応用力 を養う。	2年後期	60	4			0	0			0	0
38	0			グラフィックデ ザイン2	専用ソフトを使用しグラフィックをデザインする②	2年後期	60	4			0	0			0	
39	0			サイン2 表現演習2	個性を生かした作品を制作する。②	2年後期	60	4			0	0			0	
40	0	1	-	映像演習3	写真スタジオにおけるデジタルカメラでの動画撮影技術	2年後期	60	4			0	0			0	
41	0	1		デジタル実習4	を習得。③ デジタルフォト運用に関する知識を習得する。④	期 2年後	60	4			0	0			0	
42	0		-	特別授業5	エンテルノオト連州に関する和級を自付する。(世) 業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事 をするうえで有益な情報(好まれる人間性や重宝される	期 2年前	0	2	0				0	0	_	
	-	-			技能等) を学ぶ(1) 業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事	期 2年前										
43	0				をするうえで有益な情報 (好まれる人間性や重宝される 技能等) を学ぶ② 2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講	期 2年後	0	2	0				0	0		
44	0			11///25/77	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講 2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講	2年後	0	2	0				0	0	Н	
45	0	4		14/0118/#10	評を受ける②	2年後 期 年間	0	2	0		_	_	0	0	H	
46		4	-	言葉と写真	言葉と写真のつながり、表現を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。 動画編集の基礎について学ぶゼミ	選択 制 年間	60	4			0	0			0	
47		-	-	動画編集ゼミ	学科・学年に関係なく希望者が受講できる。 映画の歴史・成日立ち・修賞の仕方を学ぶげる	選択 制 年間	60	4			0	0			0	
48			-	映画入門ゼミ	学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	遊制	60	4	0			0			0	
49	4	4	-	着付けぜミ クリエイトする	浴衣の着付けを学ぶぜミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	遊択制	60	4			0	0			0	
50	4	4	_	為の基礎デッサ ン議座	デッサンの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	選択制	60	4			0	0			0	
51			0	ゼミ	ProToolsの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			0	0			0	
52			0	DTM/DAWゼミ	DTM/DAWの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			0	0			0	
53			0	日舞ゼミ	日舞の基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		L	0	0	L	L	0	L
54	[[0	HIPHOPtď ≷	HIPHOPダンスの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			0	0			0	
			合	tt .	54 卒業要件及び履修方法	科	目				172	単位	चं (単位	時間	1)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	ř
卒業要件: 取得単位110単位以上 出席率75%以上	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望を取る。	1 学期の授業期間	15 週

関格方法: 自田選択科目は「四日以及米別の印め、いっか生とかっ。 (留意事項) 1 一の規業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。 2 企業等との連携については、実施更項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可望	年月日	校長	名			所在地			
専門学校東京ビジェ	ュアルアー	平成5年3月	月31日	清水礻	貞徳		102-0081 東京都千代田区四都	番町11			
設置者名		設立認可名	年月日	代表者	名	(電話)	03-3221-0203	所在地			
学校法人Adacl	hi学園	昭和42年1		安達明			102-0062 東京都千代田区神E				
		認定課程名		認定学科名		(電話)	03-3292-0662		- 2年 年	一种类中母	声 即舞和勃宁左帝
<u>分野</u> 文化・教養		<u>祁足球性石</u> 快像専門課程		<u> 総足子付名</u> 科(カメラマン]士認定年度 ; 6(1994)年度	高度専門士認知	上干炭	椒未夫 歧	専門課程認定年度 -
学科の目的	写真業界(のニーズに合ったか	リキュラムを実力	施し、写真業績	界と協同し	ながら卒業	後に社会で活躍できる	人材の育成を目的と	する。		
学科の特徴(取得											
可能な資格、中退 率 等)							イベントや作品を制作 R5年度3月31日時点1	F における在学者60名(F	R5年3月31	日卒業者を含	む)
		全課程の修了に必	必要な総授業時	持数又は総	=#	*	1	# 77	-	±1.FA	#
修業年限	昼夜		単位数		ē冉	義	演習 	実習	ž	実験	実技
2	昼間	※単位時間、単位いず かに記入		単位時間	40	単位時間	単位時間	単位時間 96 単位		単位時間単位	単位時間単位
生生松中昌	开 往5	다음(A)					- 平位	90 平位		平位	
生徒総定員	生使身	定員(A) 留学	学生数(生徒実員の		留学生害						
400の内 数 人	68 ■卒業者	人 数 (C)	. 21	人 38	31						
	■就職希	望者数(D)	:	35		\					
	■就職者 ■地元就	数 (E) 職者数 (F)	:	32 10							
	■就職率		老の割	91		%					
				31		%					
		こ占める就職者の害	引合 (E/C)	84		%					
就職等の状況	■進学者			1		人					
			0夕 計跡江平	h 幼虫 生・わ ・1・	ئا ج						
	 	·ス活動2名、帰国2	2句、웼聝沽劐	小胚院 冶 な	·C						
	(令和		業者に関する令	和5年5月1日	日時点の情	報)					
	■主な就 (令和4年度	職先、業界等									
		マーネエク ジオ、出版社スタジ	ジオ、営業写真	[館、子供写]	真館など						
	■民間の	評価機関等から第	第三者評価:				無				
第三者による		、例えば以下につい									
学校評価		評価団体:		受	審年月:			評価結果を掲載した トームページURL			
当該学科の											
ホームページ URL	https://w	ww.tva.ac.jp/depai	rtment/photo	/							
	(A:単位	立時間による算定)									
		総授業時数								単位時間	
			業等と連携した			受業時数				単位時間	
			業等と連携した	こ演習の授業8	侍数					単位時間	
		つち必	修授業時数	年と連進した。) 修の宝料	14. 字型. 中	技の授業時数			単位時間	
				等と連携した。						単位時間	
A## \ = # . .		(うち:	企業等と連携し							単位時間	
企業等と連携した実習等の実施状況											
(A、Bいずれか に記入)	(B:単位	立数による算定)									
		総授業時数				ti alle me sir				6 単位	
			業等と連携した			受業時数				8 単位	
			業等と連携した 修授業時数	- 日 17 17 17 17 17 17 1	T 90X					0 単位 8 単位	
		7 5 201		等と連携した。	必修の実験	・実習・実	技の授業時数			8 単位	
				等と連携した。						0 単位	
		(うち:	企業等と連携し	したインター:	ンシップの)授業時数)				0 単位	
	<u> </u>										
		(1) ± 16 ± 14 = ± 1	88=840 ± 45 = 1	4 44 341	tt: 1 = J- · · ·						
		① 専修学校の専	育等に従事した	と者であって、	当該専	(専修学	校設置基準第41条第1項	頁第1号)		1人	
		門課程の修業年限 して六年以上とな		止争した期間。	こを選昇						
		② 学士の学はま。	右オス孝学			(亩枚尚	校設置基準第41条第1項	百第2号)		0 人	
数昌の屋針(また		② 学士の学位を ③ 高等学校教諭:					校設置基準第41条第1項			0 人 0 人	
教員の属性(専任 教員について記											
入)		④ 修士の学位又	16年门戦子恒				校設置基準第41条第1項			0 X	
		⑤ その他 計				(导修字	校設置基準第41条第1項	東対(で)		0人	
		計								1人	
		LEG COL	中沙 古北口	//\mz	Z +\+\+. •	o E 左 N L =	中政の奴をナナー	₩0 ±±			
		上記①~⑤のうちの実務の能力を有			るおおむオ	35年以上の	実務の経験を有し、ス	かつ、高度		1人	

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程 の編成を行っていること。」関係 本のは10回次でから70回次でおりたのかからからからできない。 ここの他からだっても、 「公外官員を提出される人をからない。」 「公外官員をからない。 「公外官員から、「公外官員」 「公外会員」 「公外 (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 所 選 日本映像スタジオ協会 会長 写真電気工業株式会社 代表取締役 月31日(2年) 令和4年9月1日~令和6年8 月31日(2年) 令和4年9月1日~令和6年8 (3) 清水 禎徳 専門学校東京ビジュアルアーツ 学校長 多田 和也 専門学校東京ビジュアルアーツ 学科長 ,...,.ロ~ 年報6年8 月31日(2年) 令和4年9月1日~令和6年8 月31日(2年) 令和4年9月1日~令和6年8 月31日(2年) 円谷 紫音 専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員 桑原 仁太 専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員 常和499月1日~令和698 月3日(2年) 専門学校東京ビジュアルアーツ キャリアサ ボートセンター難員 月3日(2年) 大竹 敦子 ②「企業等と連携して、実際、実施、実施又は実際(以下「緊密・清留等」という。)の授業を行っていること。)関係 (1) 京都、実際等における企業を企画書に関する基本方針 (4) なりまました。(2) 公司を指する。(4) では、10 (3)具体的な連携の供※料目型については代表的な6科目について記載。 科目名 科目展要 連携企業等 様々な撮影に対応できる知識や技術を修得、また撮影のセオリーや 規由を学び応用力を付ける。あらゆる被写体をテーマに基本的な機 終式会社ウエストゲート まと実際。 制作技術1 様々な機能に対応できる知識や技術を修得、また機能のセオリーや 理由を学び応用力を付ける。「制作技術1」の修得を踏まえ、角膜的に より難易度の高い機能を実習。 制作技術2 株式会社ウエストゲート (2)研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名: 写真展視察 連携企業等・東京都写真美術館 等の計画 野における実務に関する研修等 企画写真展「見るまえに跳べ 日本の新進作家vol20」視察 令和8年1月14日 | ②指導力の修得・向上のための研修等 | 研修名: メンタルヘルスを抱えた学生の対応について 連携企業等: 株式会社インソース 研修名: 期間: 内容 4.「学校教育法施行規則第189条において専用する開規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していることまた、評価を行うに当たっては、当該事修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参加させていること。」関係 本に、打画に1)パーボース・ストル、 相談をサードルの場所をして、正共 サルフススストを表現を 芝加田 は、いっとこ。 1回回 (1) 学校園 任本計画の 基本 方針 毎年日本 に受った人材育成ができているか、関係業界・年享生を対象として学校本機と自己評価の結果に沿って授用をする「学校 係等計画」と実施し、ポームページとで構築を公開する。その目標に基づき、復善事項をまたが、復先順にを付けて予算をしる著ラン と生産業、子校表の中の事情で観音を行う。このと学校関係事情をある。手術技术であっ ン主義と、学校会の同年後で選手が、これを学校開始者所得の各本期はどう。 「19 福安学は、日本学院を開催すると、日本学校の展生の研究 「カイラインの計算業量」 「大きっています」 「19 南京学 日本学校の展生の研究 「中心の影を出かっました相談が出まった。」 「19 南京学 日本学校の展生の研究 「中心の影を出かっました相談が出まった。」 「19 南京学 日本学校の展生の研究 「19 南京学 日本学校の展生の学校の展生の学校の展生を行る。」 「19 日本学校の展生を対していません。」 「19 日本学校の展生を対していません。」 「19 日本学校の展生を対しません。」 「19 日本学校の展生を対していません。」 「19 日本学校の展生を行った。」 「19 日本学校の展生を行ったる。」 「19 日本学校の展生を行った。」 「19 日本学校の展生を行ったる。」 「19 日本学校の展生を行った。」 「19 日本学校の展生を行った。」 「19 日本学校の展生を行ったる。」 「19 「日日書音 中央展別で学校の経典を開せませているないようによっていまい。 「日日本会会の音楽 本場主義学 学校の音楽者の発生を担いたされているのとは、 「日日本会会の音楽者・地域主義学 学校の音楽者の発生を担いたるをは、 「日日本会会の音楽者・地域主義学 学校の音楽者の発生を担いたるをは、 「日日本会会の音楽者を考えているない。」 「日本会会の音楽者を考えない。」 「日本会会の音楽者を考えない。」 「日本会会の音楽者を考えない。」 「日本会会の音楽者を表した。」 「日本会会の音楽者を表した。 「日本会会の音を表した。 「日本会会の音を表した。 「日本会会の音を表した。 「日本会会の音を表した。 「日本会会の音を表した。 「日本会会の音を表した。 「日本会会の音を表した。 「日本)学校関係者評価委員会の全委員の名簿 任期 種別 令和5年4月1日~ 令和7年3月1日~ 1~ 日(2年) 企業等委員 令和7年3月31日(2年) 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) 令和5年4月1日~ 令和5年4月1日~ 令和5年4月1日~ 令和5年4月1日~ 令和5年4月1日~ 國竹 章一 江川 悦子 クリエイター 株式会社メイクアップディメンションズ 平井 思帆 卒業生 法人理事 兼 校長 令和5年4月1日~ 令和5年4月1日~ 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) 令和7年3月31日(2年) 令和7年3月31日(2年) 学校法人Adachi学園 清水 禎徳 ※契貝URDのVisions - Visions ・場面を行っていたのだ。広信用的の企業、開始等、自治等によってであっていたのです。 2 日本門学校に上が作業を提出者への合意間。 では、アラインの名音 アメリー インティンの名音 アメリー インティンの音 アメリ 法令、基保子校股前基準等の遵守と適正な適当からされているかなど 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているかなど 翻字生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているかなど (、...) ての他 ※(10) 及び(11) については任意記載。 3) 4種提供方法 (ホームページ・広報誌等の刊行権・ URL: - 広報誌等の刊行物 ・ その他()) httns://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevalution_b.pdf 公表時期: 令和5年6月1日

授業科目等の概要

		分野	1	750-12 3507	科(カメラマン専攻))	配	授		拐	業,	方法	場	所	教	Ą	Ŧ
	必	選	自			当年	業	単	講	演	実験	校	校	専	兼	
		択必	由選	授業科目名	授業科目概要	次 ·	時	位			技実習					
	修	修	択			学期	数	数	義	阳	実	内	外	任	任	١
1	0			ソーシャルフォ ト論 1	写真が社会のなかで果たす役割を知る。①	14F 813R	30	2	0			0			0	İ
2	0			写真史	写真の歴史を学ぶ	1年前期	30	2	0			0			0	I
3	0			表现研究	多彩な表現を通し職業写真家について知る。①	14F 8139	30	2			0	0			0	Ī
4	0			HR1	写真に関する幅広い知識を身につけ、自己と写真との 関わり方を見いだす。①	14s 8138	30	2	0			0		0		İ
5	0			ソーシャルフォ ト論2	写真が社会のなかで果たす役割を知る。②	1年 後期	30	2	0			0			0	Ì
6	0			写真作家研究	多彩な表現を通し職業写真家について知る。②	1年 後期	30	2			0	0			0	İ
7	0			業界研究	写真業界に対する知識を深め、 進路を考える。	14s 8139	30	2	0			0			0	İ
8	0			HR2	写真に関する幅広い知識を身につけ、自己と写真との 関わり方を見いだす。②	1年 後期	30	2	0			0		0		İ
9	0			スタジオワーク	スタジオでの撮影に慣れ、スタジオ作業の基本を習得 する。	1年 後期	60	4			0	0			0	Ì
10	0			暗室実習1	モノクロフィルムの現像とプリント方法を習得する。 ①	14F 813R	60	4			0	0			0	l
11	0			基礎演習	機材・構図・光・被写体等の基本要素を学ぶ。	14s (2:88	90	6			0	0	0		0	l
12	0			フォトテクニック1	様々なカメラ・機材を使用し、写真の基礎技術を修得 する。①	144	60	4			0	0	0		0	I
13	0			デジタル基礎実	する。 U Photoshopの使い方を習得する。	1年 後期	60	4			0	0			0	I
14	0			習 セッティング ワーク1	スタジオ撮影を通して、現場で使えるミニマムスキル を身につける	146	60	4			0	0			0	I
15	0				を身につける モノクロフィルムの現像とブリント方法を習得する。 ②	1年 後期	60	4			0	0			0	I
16				暗室実習2		146						_	_			1
	0			写真演習1	計画的に作品をつくる事を通じて、自主性を育む。 様々なカメラ・機材を使用し、写真の基礎技術を修得	et Hi	60	4			0 0	0	0		0	l
17	0			フォトテクニッ ク2	する。② Photoshop等のテーシータル技術を学ひて、表現性の高い写	1年後期	30	2			0	0	0		0	
18	0			デジタル実習1	PROTOSTROP等のアーシータル技術を子び、表現性の高いな を制作する。①	1年 前期	60	4			0	0			0	
19	0			専攻ゼミナール1	自分の道路にむけた作品を作り上げていく。①	1年 前期	60	4			0	0	0		0	
20	0			特別授業1	自身の就職する業界についての基礎知識を取得し、自 身の希望する職種を限定していく。	部期	0	2	0			0		0		
21	0			特別授業2	学校主催の合同企業説明会に参加し複数社から企業説 明を受ける。自身の希望職種を決定させる。	14F 8139	0	2	0			0		0		
22	0			特別授業3	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受 ける①	1年 後期	0	2	0			0		0		
23	0			特別授業4	自身の1年間の学びの成果物を作成・免表し、講評を受ける②	1年 後期	0	2	0			0		0		
24	0			特論1	業界力を身につける/最終制作のレベルアップ①	2年前期	30	2			0	0			0	١
25	0			写真映像論1	写真・映像の歴史と名作を学び、写真表現の可能性を 追求する。①	2年前	30	2	0			0			0	I
26	0			メディア論	様々な映像メディアから、社会と写真との関連性を考える	2年前期	30	2	0			0			0	İ
27	0			HR3	写真業界について理解し、就職の方向性を決める。	2年前期	30	2	0			0		0		İ
28	0			特論2	業界力を身につける/最終制作のレベルアップ②	2年後期	30	2			0	0	0		0	Ì
29	0			写真批評	写真評論家による作品批評を通し、写真を読み取る力	2年前期	30	2	0			0			0	l
30	0			写真映像論2	を来り。 写真・映像の歴史と名作を学び、写真表現の可能性を 追求する。②	2年後期	30	2	0			0			0	I
31	0			HR4	増水する。 ② 就職活動に向けた準備を進める。	2年後期	30	2	0			0		0		I
32	0			制作技術1	あらゆる撮影に対応するミニマムスキルの習得。	2年前期	60	4	_		0	0	0	_	0	I
33	0			ファインブリン	タイプCブリントとバライタ紙ファインブリントの習	2年	60	4			0	0			0	I
	_			F1	得。	前期 2年						_	_		-	
34	0			表現演習1	多様な表現方法を習得する。 Photoshop等のテランタル技術を学び、表現性の高い3	飲期	60	4			0	0	0		0	
35	0			デジタル実習2	Photoshop等のテーシータル技術を学ひて、表現性の高い事を制作する。②	夜期	60	4			0	0			0	
36	0			専攻ゼミナール2	自分の道路にむけた作品を作り上げていく。②	後期	90	6			0	0	0		0	
37	0			制作技術2	あらゆる撮影に対応するミニマムスキルの習得。応用 力を養う。	2年後期	60	4			0	0	0		0	
38	0			フィニッシュワーク	最終作品制作	2年前期	60	4			0	0	0		0	
39	0			表现演習2	個性を生かした作品を制作する。	2年前期	60	4			0	0	0		0	
40	0			デジタル実習3	Photoshop等のテジンタル技術を学び、表現性の高いす を制作する。③	2年 後期	60	4			0	0			0	
41	0			専攻ゼミナール3	自分の進路にむけた作品を作り上げていく。③	2年 後期	90	6			0	0	0		0	
42	0			特別授業5	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事をするうえで有益な情報 (好まれる人間性や重宝される技能等) を学ぶ①	2年前期	0	2	0			0		0		ļ
43	0			特別授業6	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事をするうえで有益な情報 (好まれる人間性や重宝される技能等) を学ぶ②	2年 前期	0	2	0			0		0		
44	0		L	特別授業7	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受ける①	2年後期	0	2	0	L		0	L	0	L	
45	0			特別授業8	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を免表し、講評を受ける(2)	2年後期	0	2	0			0		0		Ī
46			0	言葉と写真	言葉と写真のつながり、表現を学ぶぜミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			0	0			0	İ
47	П		0	動面編集ゼミ	動画編集の基礎について学ぶぜミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			0	0			0	t
48	H		0	映画入門ゼミ	映画の歴史・成り立ち・鑑賞の仕方を学ぶぜミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 割	60	4	0			0			0	t
49	H		0	着付けぜミ	予科・子牛に関係なくの主名が支端できる。 浴衣の着付けを学ぶぜミ 学料・学年に関係なく希望者が受講できる。	和 年間 選択 制	60	4			0	0			0	ł
50	H		0	クリエイトする	子村・子平に関係なく布里名が実講じさる。 デッサンの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	和 年間 選択 制	60	4			0	0			0	l
51	H		0	ジ講座 初心者ProTools	学科・学年に関係なく希望者が受講できる。 ProToolsの基礎を学ぶぜミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	制 年間 選択	60	4			0	0			0	1
52	H		_	₩ ≷ DTM/DAW₩ ≥	学科・学年に関係なく希望者が受講できる。 DTM/DAMの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	制制	60	4			0	0			0	1
	H					450		4							-	l
53		-	0	日舞ぜミ	日舞の基礎を学ぶぜミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。 HIPHDPダンスの基礎を学ぶぜミ	制作問	60				0	0			0	1
54			合	HIPHOP-t€ ≷	HIPHDPダンスの基礎を学ぶぜミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。 54	制	60	4			172	0	b 7	単位	0	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 取得単位110単位以上 出席率75%以上	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望を取る。	1 学期の授業期間	15 週
(安音事情)		

⁽銀倉事項)
1 一の原業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
2 企業等との連携について仏、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可勾	年月日	校長名			所在地		
専門学校東京ビジェッ	ュアルアー	平成5年3月	月31日	青水 禎徳	(住所)	102-0081 東京都千代田区四都	昏町11		
設置者名		設立認可名	年月日	代表者名		03-3221-0203	所在地		
学校法人Adach	hi学園	昭和42年1	月12日 5	安達 暁子	(住所)	102-0062 東京都千代田区神B	日駿河台2-11		
分野		認定課程名	認定学	科名		03-3292-0662 『士認定年度	高度専門士認定	至年度 職業	実践専門課程認定年度
文化·教養		快像専門課程	写真学科(写]			6(1994)年度	-		-
学科の目的	写真業界の	のニーズに合ったか	リキュラムを実施し、写	写真業界と協同	しながら卒業	後に社会で活躍できる	人材の育成を目的とす	-̄る。	
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	実習授業点 中途退学	が多い/他学科、他 率11%・・・R4年4月	専攻と協力し、業界と同 1日時点における在学	同じシステム、 月 者28名(R4年	チームワークで 度入学者含む	でイベントや作品を制作 ご)R5年度3月31日時』	⊧ 点における在学者25名	(R5年3月31日卒	業者を含む)
修業年限	昼夜		必要な総授業時数又は 単位数	は総	構義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	※単位時間、単位いず かに記入	れ 単位時 136 単位		単位時間 単位	単位時間	単位時間 96 単位	単位時	間 単位時間 単位
生徒総定員	生徒乳	実員(A) 留学	生数(生徒実員の内数)(E		割合(B/A)	半世	90 单位	- 平位	- 中山
400の内		λ	9 人		9 %				
数八	■卒業者	数 (C)	: 7		" 人				
	■就職希 ■就職者	望者数 (D) 数 (E)	: 4						
	■地元就	職者数(F)	1		人				
	■就職率 ■就職者	(E/D) に占める地元就職者			%				
	■卒業者	に占める就職者の害	25 引合 (E/C)	i	%				
	■進学者		57		<u>%</u>				
就職等の状況	■進学有		2		^				
	帰国1名、	横浜美術大学1名	、東京福祉大学1名	、など					
	(A ±	A for the story	# #.1~ BB -1~ 7 A 50.5 Ar		kdr +m \				
	(令和 ■主な就	4 平度至 職 先、業界等	業者に関する令和5年	0月1日時息の	1育報)				
	(令和4年度								
	撮影スタシ	ジオ、出版社スタジ	才、営業写真館、子	供写真館なと	-				
		評価機関等から第				無			
第三者による 学校評価	次有の場合	いりんは以下につい	(任息記載			⊒n	年仕用 た相 料 1 え		
7 1/A 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		評価団体:		受審年月:		市	価結果を掲載した ームページURL		
当該学科の ホームページ	h. t. t / /	ww.tva.ac.jp/depar							
URL	rictps.//w								
		5	tillerit/ prioto/						
	(A : 単位	立時間による算定)	unent/prioto/						
	(A:単位	立時間による算定) 総授業時数						単位時	
	(A:単位	立時間による算定) 総授業時数 うち企	業等と連携した実験)授業時数			単位時	i III
	(A:単位	立時間による算定)総授業時数 うち企:	業等と連携した実験 業等と連携した演習()授業時数			単位時 単位時	F RB
	(A:単位	立時間による算定)総授業時数 うち企:	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数	の授業時数		宇拉 ① 孤 卷 阵 数		単位時 単位時 単位時	
	(A:単位	立時間による算定)総授業時数 うち企:	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連打	の授業時数	3験・実習・3			単位時 単位時	70 70 70 70
小零等 ↓海+棒↓↓		立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち企:	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数	の授業時数 馬した必修の実 馬した必修の演	■験・実習・3 3習の授業時数	效		単位時 単位時 単位時 単位時	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
企業等と連携した 実習等の実施状況		立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち企:	業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連打 うち企業等と連打	の授業時数 馬した必修の実 馬した必修の演	■験・実習・3 3習の授業時数	效		単位時 単位時 単位時 単位時	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
		立時間による算定) 総授業時数 うち企うち企うち必((うち:	業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連打 うち企業等と連打	の授業時数 馬した必修の実 馬した必修の演	■験・実習・3 3習の授業時数	效		单位時 单位時 単位時 単位時 単位時	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企うち企うち必 (うち: 立数による算定)	業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連打 うち企業等と連打 企業等と連携したイン	の授業時数 関した必修の実 関した必修の演 シターンシップ	製・実習・3 習の授業時数 プの授業時数	效		単位時 単位時 単位時 単位時 単位時	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企う うち企う 立数による算定) 総授業時数 うち企	業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連打 うち企業等と連打 企業等と連携したイ	の授業時数 関した必修の実 関した必修の演 シターンシップ ・実習・実技の	製・実習・3 習の授業時数 プの授業時数	效		単位時 単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 8 単位	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企 うち必 (うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企 うち企	業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連持 うち企業等と連携 企業等と連携したイ	の授業時数 関した必修の実 関した必修の演 シターンシップ ・実習・実技の	製・実習・3 習の授業時数 プの授業時数	效		単位時 単位時 単位時 単位時 単位時 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企 うち必 (うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企 うち企	業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連打 うち企業等と連打 企業等と連携したイ	の授業時数 考した必修の実 考した必修の演 シターンシップ ・実習・実技の の授業時数	験・実習・3 2習の授業時数 プの授業時数 の授業時数	效)		単位時 単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 8 単位	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企 うち必 (うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企 うち企	業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン 業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数	の授業時数	学校・実習・3 習の授業時数 の授業時数 の授業時数	東技の授業時数		単位時 単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 3 単位 8 単位 8 単位	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企 うち必 (うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企 うち企	業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン 業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連携	の授業時数	学校・実習・3 習の授業時数 が授業時数 が授業時数 を を を を を を を を を を を を を	数)) 実技の授業時数 数		単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 3 単位 3 単位 8 単位 8 単位	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企 うち必 (うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企 うち企	業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 企業等と連携したイン 業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	の授業時数	学校・実習・3 習の授業時数 が授業時数 が授業時数 を を を を を を を を を を を を を	数)) 実技の授業時数 数		単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企 うち企 うち必 (うち: 総授業時数 うち企 うち企 うち企 (うち:	業等と連携した実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 企業等と連携した大実験 業等と連携した演習(修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携	の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 シターンシップ ・実習・実技の の授業時数 携した必修の実 美した必修の実 美した必修の演 した必修の演	学校・実習・3 習の授業時数 が授業時数 が授業時数 を を を を を を を を を を を を を	数)) 実技の授業時数 数		単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち:	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 立た業等と連携したイ 業等と連携した実験 を授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 で企業等と連携したイ	の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ・実習・実技の の授業時数 ・実習・実技の の授業・ ・実数 ・実習・ ・変数 ・変数 ・変数 ・変数・・変数・・変数・・変数・・変数・・変数・・変	学験・実習・3 習の授業時数 プの授業時数 D授業時数 と験・実習・3 習の授業時数	数)) 実技の授業時数 数	質第1号)	単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち:	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した 行間に従襲業務に従 教育限と当務に従	の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ・実習・実技の の授業時数 ・実習・実技の の授業・ ・実数 ・実習・ ・変数 ・変数 ・変数 ・変数・・変数・・変数・・変数・・変数・・変数・・変	学験・実習・3 習の授業時数 プの授業時数 D授業時数 と験・実習・3 習の授業時数	数) 	黄第1号)	単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位 0 単位	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち: で) で) で) で) で) で) で) で) で) で) で) で) で)	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 企業等と連携した大演習 を授業時数 うち企業等と連携 した強業等と連携 のた業等と連携 のた業等と連携 のた業等と連携 のた業等と連携 のた業等と連携 のた業等と連携 のた業等と連携 のた業等と連携 のたまである。 ではまする。 に従業等のに従業務に従 を保となる者	の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ・実習・実技の の授業時数 ・実習・実技の の授業・ ・実数 ・実習・ ・変数 ・変数 ・変数 ・変数・・変数・・変数・・変数・・変数・・変数・・変	学校・実習・3 習の授業時数 がの授業時数 が授業時数 学業時数 での授業時数 での授業時数 (専修学)	数 実技の授業時数 数) 対数置基準第41条第11		単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 8 単位 0 単位 8 単位 0 単位	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(B:単位	立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち必(うち必) (うち: 並数による算定) 総授業時数 うち企: うち必(うち企: うち必(うち企: うち必(うちな) でもないである。 (うち: でもないでは2000年で	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連打 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連打 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ・実習・実技の の授業時数 ・実習・実技の の授業・ ・実数 ・実習・ ・変数 ・変数 ・変数 ・変数・・変数・・変数・・変数・・変数・・変数・・変	宗教・実習・字 習の授業時数 がの授業時数 の授業時数 の授業時数 (専修学 (専修学	数 実技の授業時数 数 の 対 校設置基準第41条第15	頁第2号)	単位時 単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 0 単位 0 単位 1 人	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) を対していて記	(B:単位	立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち必(うちを) (うち: 並数による算定) 総授業時数 うち企: うち必(うち企: うち必(うち企: うち必(うちを) でも強性当体を対しいな専門にしている。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した演習 を業等と連携した演習 を業等と連携したで うち企業等と連携したイ	の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ・実習・実技の の授業時数 ・実習・実技の の授業・ ・実数 ・実習・ ・変数 ・変数 ・変数 ・変数・・変数・・変数・・変数・・変数・・変数・・変	学校・実習・3 2の授業時数 2の授業時数 2を験・実習・3 2を験・実習・3 での授業時数 (専修学・ (専修学・ (専修学・	数 実技の授業時数 数 か	頁第2号) 頁第3号)	単位時 単位時 単位時 単位 位 136 単位 8 単位 3 単位 0 単位 0 単位 1 人	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(B:単位	立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち必(うち) ・ (うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企: うち必(うち必) ・ (うち: でででは担望の大のでの課程が、事等のがです。 では、事等学校数を通算による。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した演習 を業等と連携した演習 を業等と連携したで うち企業等と連携したイ	の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ・実習・実技の の授業時数 ・実習・実技の の授業・ ・実数 ・実習・ ・実性の によめ修の により ・であって ・だいます。	宗験・実習・3 習の授業時数 が一般素時数 が一般素時数 に関する。 は は は は は は は は は は は は は	数 実技の授業時数 数 数 対 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	頁第2号) 頁第3号) 頁第4号)	単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 3 単位 3 単位 0 単位 0 単位 1 人	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち: うち必) (うち: 総授業時数 うち企: うち必((うち: のでは、) (うち: のでは、) ので、) ので、) ので、) ので、) ので、) ので、) ので、) ので	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した演習 を業等と連携した演習 を業等と連携したで うち企業等と連携したイ	の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ・実習・実技の の授業時数 ・実習・実技の の授業・ ・実数 ・実習・ ・実性の によめ修の により ・であって ・だいます。	宗験・実習・3 習の授業時数 が一般素時数 が一般素時数 に関する。 は は は は は は は は は は は は は	数 実技の授業時数 数 か	頁第2号) 頁第3号) 頁第4号)	単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 3 単位 3 単位 0 単位 0 単位 1 人 0 人 0 人	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち必(うち) ・ (うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企: うち必(うち必) ・ (うち: でででは担望の大のでの課程が、事等のがです。 では、事等学校数を通算による。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	業等と連携した実験 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携した演習 を業等と連携した演習 を業等と連携したで うち企業等と連携したイ	の授業時数 携した必修の実 携した必修の演 ・実習・実技の の授業時数 ・実習・実技の の授業・ ・実数 ・実習・ ・実性の によめ修の により ・であって ・だいます。	宗験・実習・3 習の授業時数 が一般素時数 が一般素時数 に関する。 は は は は は は は は は は は は は	数 実技の授業時数 数 数 対 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	頁第2号) 頁第3号) 頁第4号)	単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 3 単位 3 単位 0 単位 0 単位 1 人	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) を対していて記	(B:単位	立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち: ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	業等と連携した実験 禁等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン 業等と連携した大演習 を要と連携した演習 うち企業等と連連 が表現をできる。 を選集等と連連 をと連携したが表現である。 では該業務に にたる者等 を経験者 は専門職学位	の授業時数 #した必修のの実演 #した必修のの演演 ・	学校・実習・3 での授業時数 が受験・実習・3 が受験・実習・3 が受験・実習・3 がの授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業等等 でのである。 でのでのでのでのである。 でのである。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	数 実技の授業時数 数 対 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	頁第2号) 頁第3号) 頁第4号)	単位 位 时 単位 位 时 単位 位 时 単位 位 时 単位 位 时 単位 位 时 単位 位 时 单位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) を対員について記 を対していて記	(B:単位	立時間による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち: 立数による算定) 総授業時数 うち企: うち必((うち: でする) では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	業等と連携した実験 禁等と連携した演習 修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン 業等と連携した大演習 を要と連携した演習 うち企業等と連連 が表現をできる。 を選集等と連連 をと連携したが表現である。 では該業務に にたる者等 を経験者 は専門職学位	の授業時数 携した必修の実 美した必修の演 ・実理・時数 ・実理・時数 ・大変のでは、 ・大変である。 ・大変できないる。 ・大変できないる。 ・大変である。 ・大変である。 ・大変である。 ・大変である。 ・大変できないななななななななななななななななななななななななななななななななななな	学校・実習・3 での授業時数 が受験・実習・3 が受験・実習・3 が受験・実習・3 がの授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業等等 でのである。 でのでのでのでのである。 でのである。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	数 実技の授業時数 数 数 対 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	頁第2号) 頁第3号) 頁第4号)	単位時 単位時 単位時 単位時 136 単位 3 単位 3 単位 0 単位 0 単位 1 人 0 人 0 人	e (14) e (14) e (14) e (14) e (14)

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程 の編成を行っていること。」関係 (2)教育課程編成委員会等の位置付け ※教育課程の編成に関する意思決定の通程を明記 ※教育開発の編成に関する是形式を必要社会制 学長の子郎、教皇原軍が大手を跨したい意宜。 おせい実践かかの事件的な重要者を実施するたが企業と連携し、必要な情報の 億・分析化刊、授業中目の開始で修業が等・方法の必要・工夫を含む需要者が必需がったことを目がして情報する。本党のから攻撃制 を搭載し、一回日は中国の機能が必要性を受しまいては当ての実施を指し、個目を見まれたいとも同様である。本学のから攻撃制 を指数した、一回日は中国の機能が必要性を受しまいては、できない実施を指し、個目を見まれたがような必要と を放えなまかがよっないへの指揮と行うのでする。是思えなの番柱としては次の通りとなる。①教育野稚園交易自食之子科表がオニラム会 引援機能を与えない。 (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 月31日(2年) 会和4年9月1日~会和6年3 月31日(2年) 会和4年9月1日~会和6年3 月31日(2年) 会和4年9月1日~会和6年3 専門学校東京ビジュアルアーツ 学校長 清水 禎徳 7-1-7-7-1 ローマ報8年8 月31日(2年) 令和4年9月1日~令和6年8 月31日(2年) 令和4年9月1日~令和6年8 月31日(2年) 令和4年9月1日~令和6年8 月31日(2年) 有34年9月1日~令和6年8 月31日(2年) 専门学校東点ビジュアルアーツ 学科表 専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員 専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員 専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員 専門学校東京ビジュアルアーツ キャリアサポートセン ター職員 大竹 敦子 ※等員の推奨の際には、企業等委員の場合には、定員の推奨のうち以下の11〜3のいずれば該当するが記載すると、 (国計学なの際組合学学院の支援してを寄する場合、現外の場合・「定理して代表し、) ・ 一般の表現の表現の表現では、企業の機能なの表現は対し、また。 一般から自然体験の表現は、企業や機能なの表現は対し、また。 (学者から対象性の対象性) ・ 「表現に対する対象性」(主意・特殊を対象に対象は対象は対象に対象性 ・ 「表現に対する対象性」(主意・特殊を対象性 (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 (年間の開催数及び開催時期) 年2回 (9月,2月) (開催日時(実績)) 第1回 令和4年9月28日 15:00~16:30 第2回 令和5年2月27日 15:00~16:30 (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※かパキュラムの改善率や今後の検討課題等を具体的に明記。 寺下委員、園工委員より写真機能だけでなく、映像機能などマルチに対応できる人材育成への要望 ・映像機能や編集など映像についての授業時間数を現在よりも増やす。写真と映像に共通する「園作り」を学ぶ新規カリ キュラムについても今後の賃貸店屋として職機関節と 2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係 (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。 科目名 科目概要 連携企業等 様々な撮影に対応できる知識や技術を修得、また撮影の セオリーや理由を学び応用力を付ける。あらゆる被写体を テーマに基本的な撮影を実習。 制作技術1 様々な撮影に対応できる知識や技術を修得、また撮影の セオリーや理由を学び応用力を付ける。「制作技術」」の修 得を踏まえ、発展的により難易度の高い撮影を実習。 株式会社ウエストゲート 3 「企業等と連携して、数員に対し、専攻分野における実際に関する研修を組織的に行っていること。「関係 (1)推議等料の数員に対する研修・研究(以下で研修等上はう)、の基本分析 当部等を発見して選択することについて関係的に定われていることが認 ・対策をはて返出限制を対して、可能制度が変化されている。 ・対策をはて返出限制を対して、可能制度が変化されている。 ・対策を対しては、対策を対している。 ・対策を対しては、対策を対している。 ・対策を対している。 ・対策を対しているが、 ・対策を対しなが、 ・対策を対しなが、 ・対策を (2)研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名: 写真展視察 期間: 2022/9/25 対象: 写真学科 常勤教職員 「見るは触れる 日本の新進作家 vol.19」視察。最新の写真表現を知る。 ②指導力の修得・向上のための研修等 研修名: 実習・作事におけるチーム活動について 期間: 2023/3/29 学生間の連携を促進しより業界力・人間カ・現場力を高める目的において、ビジネスの親点からテームワークや組織貢献の在り力を再確認し、実習等における学生指導ならびに行事・イベント展開、カリキュラム作成に役立てる。 カボ・今具子や 本学卒業生の作品も展示予定である企園展を視察。日本における最新の写真表現を視察し 時代に求められる写真表現を知る。 ②指導力の修得・向上のための研修等 研修名: メンタルヘルスを抱えた学生の対応について 連携令章等・株式会社インソース 研修名: メンタルヘル 期間: 2024/3/27 内容 近年増加修 ス数有理増 対象: 常勤教職員・助手 近年増加傾向にあるメンタルヘルスを抱えた学生の対応を学び、ひとりひとりの学生が継続的に学修でき る教育環境の構築を目指す。 4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していることまた。評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参順させていること。」関係 (1) 学校開係者評価の基本方針 毎日毎に決った人村育型ができているか、関係業界・中華生を対象として学校点後と自己評価の結果に沿って接続をする「学校関係者評価」 第三とか、レバージ上で編集を決解する。その評価に基づっ、恋音等表を変め、優先規位を付けて予算むし改善アプレを推定、予収長の計可を 様で協会行う。これを実践機合計画の表示相談であっ (2)「専務学校における学校評価方化ケライン/の項目との対応 ガイデオインの計算機 (1) 世界開始・日報 学校の報告 日前・用電人材格は対からたでいるか 公ど (2) 技術者 日本学校会 日本 表面資金化についる物質類の 組工業の方向や対定されているか 位 経験を向上を回りたいたから 位 成下の機能、原本上の必要は、ドライスでも入りを 成下の機能、原本上の必要は、ドライスできる力を含むたい。もの 位 の本学な物様は、形容がありまっているかりませんでしたか 位と 中央の場合を対して、自然を対しては、日本のでは、 中のの場合を対して、またが、これでいるから 位と 中のの場合が、中のの場合が、これでいるから 位と 中のの場合が、中のの場合が、これでいるから 位と 中のの場合が、中のの場合が、これでいるが、これでいるから 位と 中のの場合が、から、これでは、日本のでは、日本のでは、 中のの場合が、中心で、日本ので、日本ので、日本のでは、 日本のでは、「日本ので、日本ので、日本ので、日本のでは、 日本のでは、「日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、 日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、 日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、 日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、 日本ので、日本ので、日本ので、 日本ので、日本ので、 日本ので、日本ので、 日本ので、日本ので、 日本ので 日本ので、 日本ので 5)学生支援 6)教育環境 (7)学生の受入れ募集 「丁)学生の意人に基準 高年中年日報ビルドの構造と対で機能と対して機能と使う。 「日)財務 日本の通常 日本の通常 日本の通常の表現を基準である。 「10」は年後の通常 日本・毎年日間連携を集める日本の通常の表現でいる。 「10」は年後の通常 日本・毎年日間連集をある日本の通常の表現でいる。 「11」は開発を 第7日の直代 11」に関係を 第7日の直代 11」に関係を 第7日の直代 11」に関係を 第7日の直代 11」に関係を 第7日の直代 11」に関係を 第7日の直代 11」に関係を 第7日の直代 11」に関係を 第7日の直代 11」に関係を 第7日の直代 11」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12」に関係が 第7日の直代 12 第7日の直統 12 第7日の直統 12 第7日の直統 12 第7日の直統 12 第7日の直統 12 第7日の直統 12 第7日の直統 12 第7日の直統 12 第7日 (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿 名前 所属 木澤 淳一郎 株式会社ウエストゲート 任期 種別 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) 企業等委員 令和7年3月31日(2年) 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) 國竹 章一 クリエイター 卒業生 企業等委員 卒業生 法人理事 兼 校長 学校教職員 学校教職員 株式会社メイクアップディメンションズ 江川 悦子 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) 東水 植態 学校法人人的の分享器 (物理の対象) 25年 (特別を対象) 25年 ※祭典の任命が (例)全集等員、PTA、卒産生等 (5)学校関係責評価結果の必要方法・企表時期 (ホームページ) 広報総等の刊行物・その他() https://www.tva.acjp/disclosure/files/RMTVAevalution.b.pdf (3) であったデンシンの中のようない。 「他のから、中のから、中のから、 はないから、中のから、中のから、 はおきないから、またが、中のから、 はおきないから、またが、中のから、 はおきないから、またが、中のから、 はおきないから、またが、中のから、 はおきないから、またが、 はおきないが、またが、 はおきないが、またが、 はおきないが、またが、 はおきないが、 はおきないが、 はおきないが、 はおきないが、 はおきないが、 はおきないが、 はおきないが、 はおきないが、 はおきないが、 はおきないが、 はおきないが、 はおきないが、 はないが、 とないが、 はないが、 とないが、 はないが、 はないが、 はないが、 はないが、 はないが、 はないが、 はないが、 はないが、 はないが、 はないが、 とな、 とないが、 とないが、 とないが、 とないが、 とな、 とな、 とな、 とな、 と、 とな、 と、 と、 と 中長期約に学校の財政基準は安定しているといえるかなど 注令、事修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているかなど 学校の幣音音景や施設を活用した社会音響・地域音数を行っているかなど 留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているかなど (11)その他 第字世 (10)及び(11)については任意記載。 13情報経費方達 ホームページ 広報誌等の刊行物・その他(IRL: https://www.tva.ac.jp/disclos 公表時期: 2023/6/1 URL: 公表時期:

授業科目等の概要

		复学 分類		(写真表現専攻		56	授		挡	業;	方法	場	所	教	Ą	1
	必	選	自			当年	火業	単	講	演	実験	校	校	専	兼	40 110 1
	~	一択必	由選	授業科目名	授業科目概要	次	時	位		,,,	技実	2		,		
	修	修	択			学期	数	数	義	팝	習・実	内	外	任	任	
1	0			ソーシャルフォ ト論 1	写真が社会のなかで果たす役割を知る。①	1年前期	30	2	0			0			0	
2	0			写真史	写真の歴史を学ぶ	1年前期	30	2	0			0			0	
3	0			表现研究	多彩な表現を通し職業写真家について知る。①	1年前	30	2			0	0			0	
4	0			HR1	写真に関する幅広い知識を身につけ、自己と写真との関 わり方を見いだす。①	1年前期	30	2	0			0		0		
5	0			ソーシャルフォ ト論2	写真が社会のなかで果たす役割を知る。②	1年後期	30	2	0			0			0	Ī
6	0			写真作家研究	多彩な表現を通し職業写真家について知る。②	1年後期	30	2			0	0			0	Ī
7	0			業界研究	写真業界に対する知識を深め、 進路を考える。	1年前期	30	2	0			0			0	İ
8	0			HR2	写真に関する幅広い知識を身につけ、自己と写真との関 わり方を見いだす。②	1年後期	30	2	0			0		0		Ī
9	0			スタジオワーク	スタジオでの撮影に慣れ、スタジオ作業の基本を習得す る。	1年後期	60	4			0	0			0	İ
10	0			暗室実習1	モノクロフィルムの現像とプリント方法を習得する。①	1年前期	60	4			0	0			0	İ
11	0			基礎演習	機材・構図・光・被写体等の基本要素を学ぶ。	1年後期	90	6			0	0	0		0	İ
12	0			フォトテクニック1	様々なカメラ・機材を使用し、写真の基礎技術を修得する。①	1年前期	60	4			0	0	0		0	İ
13	0	Н		デジタル基礎実	Photoshopの使い方を習得する。	1年後	60	4			0	0			0	İ
14	0			セッティング ワーク1	スタジオ撮影を通して、現場で使えるミニマムスキルを 身につける	1年後	60	4			0	0			0	ŀ
15	0	Н		暗室実習2	ボにつける モノクロフィルムの現像とプリント方法を習得する。②	1年後期	60	4			0	0			0	l
16	0	H		写真演習1	計画的に作品をつくる事を通じて、自主性を育む。	1年前	60	4			0	0	0		0	ł
17	-	H		フォトテクニッ	様々なカメラ・機材を使用し、写真の基礎技術を修得す	期 1年後	30	2				-				l
18	0	H		ク2	る。② Photoshop等のテッシッタル技術を学ひっ、表現性の高い3	期 1年前	60	4			0 0	0	0		0 0	l
-	-				を制作する。	相		_			_	-	_		-	
19	0			専攻ゼミナール1	自分の進路にむけた作品を作り上げていく。① 自身の就職する業界についての基礎知識を取得し、自身	700	60	4	_		0	0	0	_	0	
20	0			特別授業1	の希望する職種を限定していく。 学校主催の合同企業説明会に参加し複数社から企業説明	期	0	2	0			0		0		
21	0			特別授業2	を受ける。自身の希望職種を決定させる。 自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受	期	0	2	0			0		0		
22	0			特別授業3	176①	期	0	2	0			0		0		
23	0			特別授業4	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける(2)	期	0	2	0			0		0		
24	0			特論1	業界力を身につける/最終制作のレベルアップ①	2年前期	30	2			0	0			0	
25	0			写真映像論1	写真・映像の歴史と名作を学び、写真表現の可能性を追 求する。①	2年 前期	30	2	0			0			0	
26	0			メディア論	様々な映像メディアから、社会と写真との関連性を考え る	2年 前期	30	2	0			0			0	
27	0			HR3	写真に関する幅広い知識を身につけ、自己と写真との関 わり方を見いだす。③	2年 前期	30	2	0			0		0		
28	0			特論2	業界力を身につける/最終制作のレベルアップ②	2年 後期	30	2			0	0	0		0	
29	0			写真批評	写真評論家による作品批評を通し、写真を読み取る力を 養う。	2年 前期	30	2	0			0			0	
30	0			写真映像論2	写真・映像の歴史と名作を学び、写真表現の可能性を追求する。②	2年後期	30	2	0			0			0	Ī
31	0			HR4	写真に関する幅広い知識を身につけ、自己と写真との関 わり方を見いだす。④	2年後期	30	2	0			0		0		Ī
32	0			制作技術1	あらゆる撮影に対応するミニマムスキルの習得。	2年前期	60	4			0	0	0		0	Ī
33	0			ファインブリン ト1	タイプCプリントとバライタ紙ファインプリントの習得。	2年 前期	60	4			0	0			0	İ
34	0			表現演習1	多様な表現方法を習得する。	2年 前期	60	4			0	0	0		0	İ
35	0			デジタル実習2	デジタルフォト運用に関する知識を習得する。①	2年後期	60	4			0	0			0	İ
36	0			専攻ゼミナール2	自分の進路にむけた作品を作り上げていく。②	2年後期	90	6			0	0	0		0	İ
37	0	Н		制作技術2	あらゆる撮影に対応するミニマムスキルの習得。応用力 を養う。	2年後期	60	4			0	0	0		0	l
38	0	Н		フィニッシュワーク	最終作品制作	2 年	60	4			0	0	0		0	ŀ
39	0	H		ワーク 表現演習2	個性を生かした作品を制作する。	前期 2年	60	4			0	0	0		0	l
40	0	H		デジタル実習3	新はセエル・した。IF m と 8 i F y る。 デジタルフォト運用に関する知識を習得する。②	前期 2年	60	4			0	0			0	ŀ
41		H		専攻ゼミナール3	テンタルフォト連州に関する和線を音符する。② 自分の進路にむけた作品を作り上げていく。③	後期 2年	90	6			0				0	ļ
	0	H			業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事	後期 2年			_		J	0	0	_	J	l
42	0	H		特別授業5	をするうえで有益な情報 (好まれる人間性や重宝される 技験等) を学ぶ(1) 業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事	2年 前期 2年	0	2	0			0		0		
43	0	H		特別授業6	をするうえで有益な情報 (好まれる人間性や重宝される 技験等) を学ぶ② 2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講	前期	0	2	0			0		0		
44	0	Н		特別授業7	評を受ける①	2年後期	0	2	0			0	L	0		
45	0	H		特別授業8	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受ける②	2年 後期	0	2	0			0	L	0		
46		Ц	0	言葉と写真	言葉と写真のつながり、表現を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制 毎間	60	4			0	0			0	
47		L	0	動画編集ゼミ	助画編集の基礎について学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	選択制	60	4			0	0	L		0	
48		Ц	0	映画入門ゼミ	映画の歴史・成り立ち・鑑賞の仕方を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4	0			0			0	
49			0	着付けゼミ	浴衣の着付けを学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			0	0			0	
50			0	クリエイトする 為の基礎デッサ ン講座	デッサンの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			0	0	L		0	
51			0		ProToolsの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			0	0			0	ſ
52			0	DTM/DAW+₹ ≅	DTM/DAWの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			0	0			0	Ī
53			0	日舞ぜミ	日舞の基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			0	0			0	t
54		П	0	HIPHOP-€ ≷	HIPHOPダンスの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 副	60	4			0	0	Г		0	t
		_	合		54	科	目		<u> </u>	<u> </u>	172	単	位 (単位	時間	L

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 取得単位110単位以上 出席率75%以上	1 学年の学期区分	2期
履修方法: 自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望を取る。	1 学期の授業期間	15 週

⁽電影分別 自由選択代目は、回由U校末期間の原までに布息を収む。 | ・ナアルジス未が期間 (信息事別) | ・ 中の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうちニ以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。
2 企業等との連携については、実施更項の3 (3) の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。